

市教委だより

“四万十川子ども演劇祭2013”

わくわく!どきどき!たのしかったよ!

子どもたちに、普段なかなか鑑賞する機会のない、生の舞台を届けようと始まった演劇祭。今回で12回目を迎えました。(隔年開催)

今年は、東山小ほか3校の子どもたちが、劇団風の子「ウーフ」(5月28日〜30日)を、中村小ほか8校の子どもたちが、劇団コロ「いえで」(5月30日〜31日)を観劇しました。

森で暮らすくまの子ウーフが、ドキドキワクワクしながらたくさんの不思議や疑問を大切な仲間たちと発見していく。そんな姿に子どもたちも自分を重ね合わせることができたのではないのでしょうか?たくさんの不思議に自分らしい答えを見つけていってほしい、そんなメッセージが届いたでしょうか。役者の動き、歌声、楽器の音、どれもこれも子どもたちを惹きつけ、楽しませてくれました。

家出した子どもしか乗れない電車「いえで」で「んしゃ」。お母さんと「ムジツノツミ」でケンカしてさくら子は飛び乗った。不思議な旅のなかで出会った人たち。さくら子が電車を降りると言った時に、ほっとした子どもたちもたくさんいたようです。ヘンテコな車掌さんに大笑いしながらも、演出の細かいところにも気づいていました。子どもたちでした。私も乗ってみたい、続きが観たいと感想文に書いてくれた子どもたちも多くいました。

約1時間の舞台ですが、子どもたちはびびくりするくらい良い反応を見せてくれます。心に響く良い時間を共有できている子どもたちの姿に、とても嬉しくなりました。



「ウーフ」東中筋中学校での公演

大用中学校 大川筋中学校

カヌー遠足

5月24日(金)

5月24日(金)、大用中学校と大川筋中学校は合同でカヌー遠足を行いました。

この遠足は、お昼のバーベキューを両中学校の生徒の合同班で行うなど、全体を通して普段は別々の学校に通う生徒たちが交流を深めることができる内容になっています。

カヌー体験では、一人乗りのカヤックにそれぞれが乗り、思い思いにカヌーを楽しみ、その後は川下りに使用するラフトボートをパトナー代わりにした学校対抗リレーを行いました。リレーには教職員も一緒に参加し、とても盛り上がりしました。

そのほかにも、学校間でのプレゼン交換を行うなど、全員が大いに楽しんだ遠足となりました。



ラフトボートでのリレー

市内小中学校

算数・数学 授業力向上 事業

5月31日(金)

四万十市の学校教育には解決を困らなければならぬ多くの課題がありますが、学力問題は喫緊の課題です。その解決策の一つとして、今年度より算数・数学授業力向上事業を立ち上げました。校区の小中学校で、算数・数学の学習指導のあり方を共有し、教員の指導力を高めるために、年間2回の公開授業研究を予定しています。5月31日(金)には、具同小学校・中村西中学校、中村小学校・中村中学校において、それぞれ算数・数学の公開授業を行いました。当日は、東京学芸大学の藤井齊亮教授と西村圭一准教授を招聘し、4校それぞれの授業を参観後、具体的な指導・助言をしていただき、実り多い会となりました。



具同小学校



中村西中学校

ご質問・ご意見をお寄せください

(市)教育委員会
西土佐事務所

☎(34)1136
☎(52)1110

FAX(34)4271
FAX(52)1446

E-mail : school@city.shimanto.lg.jp
E-mail : n-school@city.shimanto.lg.jp